

令和元年 月 日

〇〇学校保護者 各位

〇〇学校PTA会長

学校再編に係るアンケート調査について（依頼）

現在、津山地域の小中学校の保護者、学校運営協議会、行政区長会及び未就学児の保護者の代表者から構成される、「津山地域学校再編準備委員会」を設置し、当委員会の中で学校再編についての検討を行っております。

検討を行っていく中で、再編の実施等について広く保護者の意見を聞いたほうが良いとの意見がありましたので、今般、学校再編に係るアンケート調査を実施することとしました。

つきましては、ご多用のところ大変恐縮ですが、調査へのご協力をお願いいたします。

記**1 回答方法**

別紙「学校再編に係るアンケート調査票」に必要事項を記入してください。

2 提出方法

調査票に必要事項を記入後、別添の提出用封筒に調査票を封入し、お子様の担任教師へ提出してください。

3 提出期限

令和元年 月 日（ ）まで

4 その他

学校再編の概要については、裏面に記載してありますので、アンケートに回答する前に確認してください。

※ 本調査は、再編実施の是非について、皆様の意見を集約するものです。

登米市における学校再編について

(登米市教育委員会資料より抜粋)

学校再編について

多くの自治体が課題としているように、登米市においても少子化による児童生徒数の減少が課題となっています。この減少傾向は今後も続き、小中学校の学校規模が小規模化することが予想されます。その中で、登米市では目指す学校像として「児童生徒が、多様な考えに触れ、切磋琢磨することで社会の形成者としての基本的資質を伸ばすことのできる学校」を掲げ、小学校・中学校とも、原則として各学年2クラス以上の学級編成となるような学校規模に再編していくこととしました。

1 考え方

(1) 学校の適正規模・適正配置

	適正規模	適正配置
小学校	各学年2学級以上	<ul style="list-style-type: none"> ・適正規模に満たない場合でも、町域に1校は配置 ・通学時間はスクールバスを活用した場合概ね1時間以内
中学校	各学年2学級以上	当面は町域毎の配置とし、再編が必要な場合は、町域を越えた再編を検討

(2) 校舎などの有効活用 現有の校舎や施設を活用することで、早期の統合が見込まれることから、必要に応じた施設改修等を行った上で有効活用を図ります。

2 津山地域の状況

	児童数の推移(人)										校舎概要	
	学年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R20	建築年 (経過年数)	面積(m ²)
柳津小学校	1年生	10	15	6	8	4	4	2			昭和53年 (41年)	床 : 1,872 敷地 : 11,603
	2年生	9	11	15	6	8	4	4				
	3年生	12	9	11	15	6	8	4				
	4年生	14	12	9	11	15	6	8				
	5年生	13	14	12	9	11	15	6				
	6年生	15	13	14	12	9	11	15				
	合計	73	74	67	61	53	48	39				
横山小学校	1年生	12	4	7	10	3	4	6			昭和56年 (38年)	床 : 1,982 敷地 : 15,095
	2年生	6	12	4	7	10	3	4				
	3年生	16	6	12	4	7	10	3				
	4年生	5	15	6	12	4	7	10				
	5年生	9	5	15	6	12	4	7				
	6年生	13	9	5	15	6	12	4				
	合計	61	51	49	54	42	40	34				

3 その他学校の状況

学校名	柳津小学校	横山小学校
1 耐震補強実施年	平成18年	なし
2 通学距離(最長)	横山大萱沢周辺 約12km	柳津堂前周辺 約10km
3 避難所の機能	避難所3	避難所4

【備考】

- 1 通学距離(最長) 各校舎を統合校舎とした場合の最長通学距離の目安(主要道路で算出)
- 2 耐震補強実施年 横山小学校については、平成15年に耐震診断を行い、基準を満たしていたため未実施
- 3 避難所の機能 ハザードマップにおける各校舎の避難所機能(避難所3:洪水時に2階以上に避難可能 避難所4:地震時のみ避難可能)